

Ⅲ 推進計画

推進計画では、基本構想で掲げるビジョンや政策方針のもと、まちづくりの方向性、重点的に推進するテーマや施策等を示します。

01 | まちづくりの方向性

まちづくりの方向性は、基本構想の政策方針に位置付けた「まちづくりの柱」に基づいて10年後に目指すまちの姿を定めています。

02 | 重点テーマ、重点施策

重点テーマは、本市の現状や課題、市民ニーズ等を総合的に勘案し、緊急かつ重点的に取り組むテーマや課題を設定したものです。

また、重点テーマに基づき推進する施策を重点施策として位置付けています。

03 | 計画推進に向けた取組方針

今後も厳しい財政状況が継続することが見込まれる中、社会状況の変化に応じて発生する新たな行政課題や、多様化・複雑化する市民ニーズに対応していくことが求められています。限られた資源で最大の効果を生み出すため、選択と集中の考えのもと、行財政改革を進め、効果的・効率的な市政運営に取り組みます。

また、各事業の推進にあたっては、ICTを積極的に活用することにより、市民サービスの提供の迅速化、利便性の向上を図ります。

04 | 計画期間

推進計画は、社会状況の変化等を考慮して3～4年ごとに見直します。



2025年度から2027年度までの3年間を計画期間とする第3期推進計画の策定にあたっては、2021年度改訂版の策定から社会状況の変化や、これまでの取組、進捗状況を考慮し、まちづくりの方向性や重点テーマ、重点施策の最終的な姿を改めて確認し、重点事業等の見直しを講じています。

今後も、社会状況の変化や市民ニーズを的確に捉え、柔軟に対応していくことで計画の実効性を高め、将来都市像「新しい価値の創造都市・前橋」の実現を目指します。

【見直しイメージ】



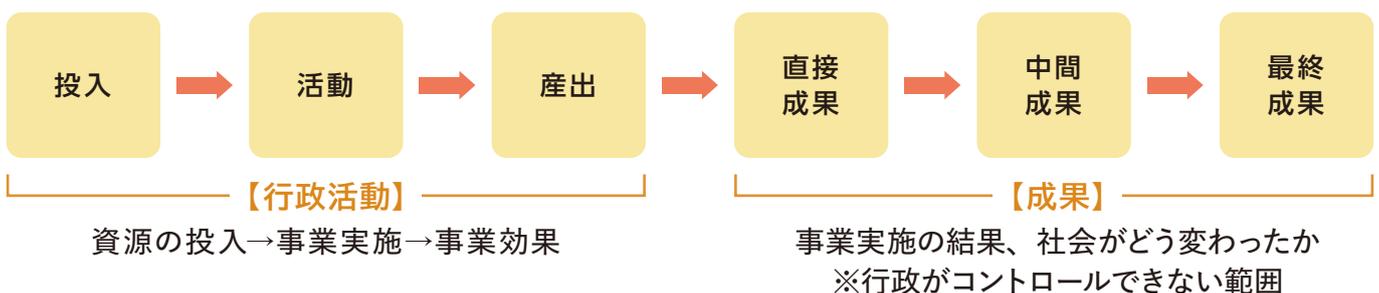
●バックカスティングによる改訂（ロジックモデルの活用）

事業が、目指している目的に到達する手段として、きちんと役立っているか、論理に飛躍がないか確認するために有効であることからロジックモデルを活用したバックカスティングによる改訂を行いました。

●ロジックモデルとは

各事業が施策における目的と手段との結びつきを因果関係により、明示化したもの

【構要素、イメージ】



●社会状況の変化への対応

第七次前橋市総合計画の策定から7年が経過しましたが、少子高齢化の進展をはじめ、新型コロナウイルス感染症の影響と回復、気候変動や物価高騰など社会状況は目まぐるしいスピードで変化しています。

そこで、今回の改訂では主に、「未来への投資（こども政策）」、「生産性・効率性の向上」、「共生社会の推進（障害の有無、LGBTQ、外国人等）」、そして、「行財政運営の最適化」という4つの視点を踏まえて見直しを行いました。

また、昨今の頻発・激甚化する自然災害に対応するため、総合的かつ計画的に強靱な地域づくりを進める「前橋市国土強靱化地域計画」を2020年12月に策定しています。本市では、国土強靱化地域計画を総合計画と並列の計画として位置付け、各個別計画の指針としての役割を相互に補完することとしています。

見直しの視点

① 未来への投資（こども政策）

日本全体で少子化が進んでおり、本市も例外ではありません。少子化は将来的に労働力の減少や経済の停滞、社会保障制度の負担増加を招く懸念があります。本市においては、これまでも保育サービスの拡充や教育の質の向上、子育て世代の支援策の強化などの取組を通じて、こども政策を強化してきたところですが、今後さらに注力する必要があります。

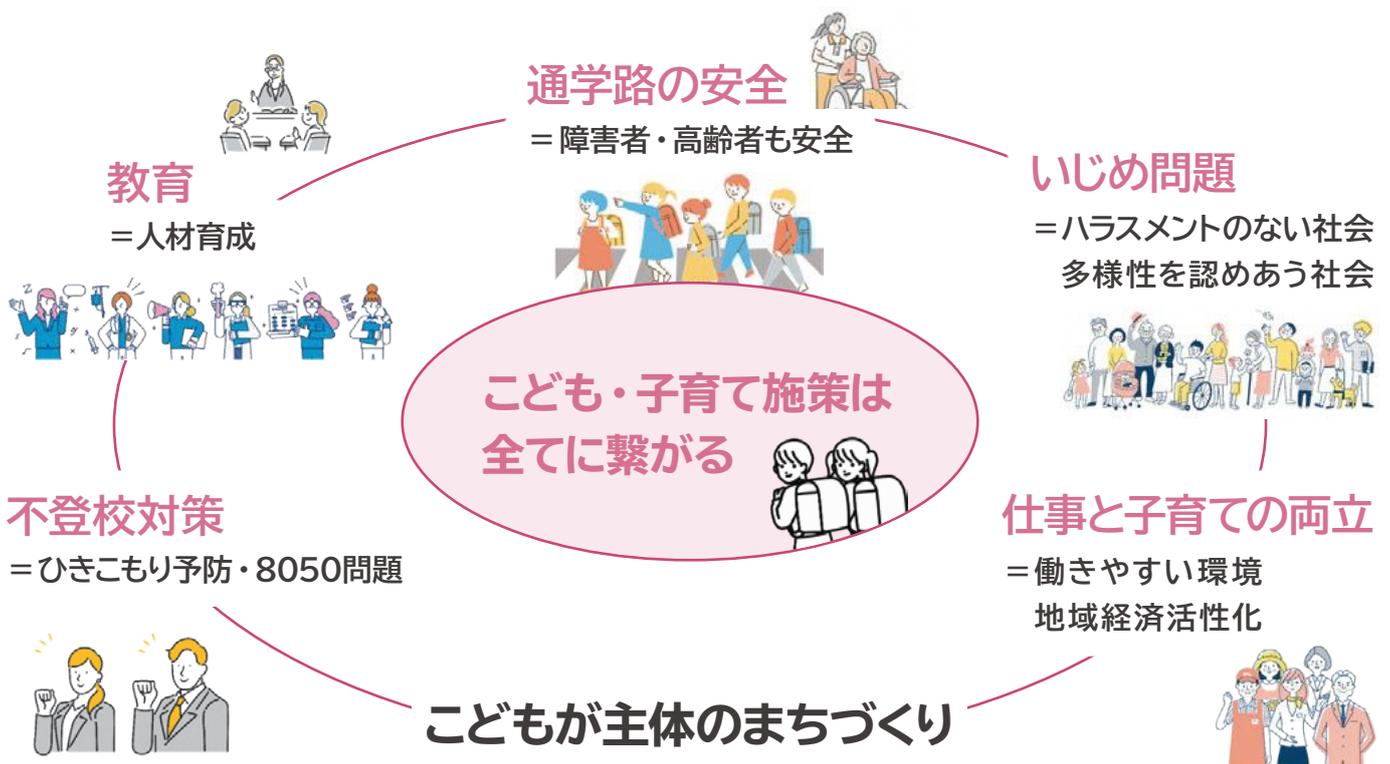
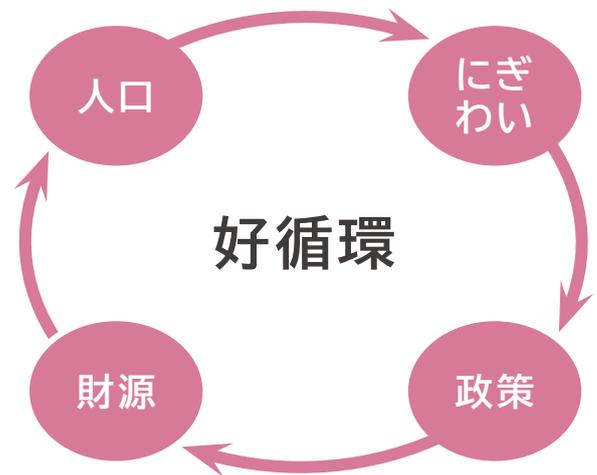
また、こども政策の推進は、少子化という社会問題に対応するためだけでなく、前橋市全体の好循環に繋がるものと考えられます。子育て負担を軽減したり、世代間の繋がりを強化したりすることで、地域社会全体の基盤を整え、その結果として前橋市全体としての生活環境の向上や福祉の充実に結びつけていくことが重要です。

なぜこどもなのか

こども・子育て政策

= **未来への投資**

- 経済活動の活性化
- 労働供給
- 地域・社会の担い手増加
- 社会保障の安定



② 生産性・効率性の向上

アフターコロナや社会経済のデジタル化等により、働き方が多様化する中、まちづくりにおいては、生産性・効率性を向上させていく視点が重要です。

リモートワークやフレックスタイム制など、コロナ禍を機に見直された働き方への対応や、地域企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進することで、経済活性化と地域全体の競争力向上につながります。限られた資源を最大限有効に活用できるよう、効率性を重視しつつ、住民の生活の質を高めるまちづくりが必要です。

③ 共生社会の推進

高齢化や国際化が進む中、年齢、性別、国籍、障害の有無などの違いを越えて、誰もが生きやすい環境を整えることが求められます。

例えば、本市在住の外国人住民は増加傾向にあり、2024年10月現在の市内の外国人雇用事業所数は911事業所、外国人労働者数は9,631人となっており、2015年に比べ、事業所数は約2.7倍、外国人労働者数は約4.4倍となっています。

教育や地域活動を通じて、多様性への理解を深め、社会的な孤立を防ぐ仕組みを整えることが必要です。また、行政や企業が共生を目指した政策や取り組みを進めることで、すべての人が安心して暮らせる社会を実現できます。

④ 行財政運営の最適化

新型コロナウイルス感染症による影響をはじめとした社会状況等の変化に確実に対応しつつ、効率的で効果的な市政運営を実現するためには、持続可能な財政運営を確保することが不可欠です。このため、公共施設の維持管理を含めて、既存事業の必要な見直しを行っていく必要があります。

【見直しの視点】

| No. | 見直しの視点 (社会状況の変化等) | 主な取組 | 主に関連する まちづくりの方向性 |
|-----|----------------------|---------------------------------------|--|
| 1 | 未来への投資 | ・教育の質の向上 ・子育て施策の強化 | 第1章 人をはぐくむまちづくり 第2章 希望をかなえるまちづくり |
| 2 | 生産性・効率性の向上 | ・アフターコロナ ・社会経済のデジタル化 ・多様な働き方の推進 | 第4章 活気あふれるまちづくり 第6章 持続可能なまちづくり |
| 3 | 共生社会の推進 | ・認め合い、支え合う社会の推進 ・多文化共生社会の推進 | 第1章 人をはぐくむまちづくり 第3章 生涯活躍のまちづくり 第5章 魅力あふれるまちづくり |
| 4 | 行財政運営の最適化 | ・ファシリティマネジメント※1 | 第6章 持続可能なまちづくり |

※1 ファシリティマネジメント…土地、建物等について、その供給、品質、財務の最適化を図り、効率的かつ効果的に活用していくための総合的な施設の管理手法

第1章 人をはぐくむまちづくり（教育・人づくり）

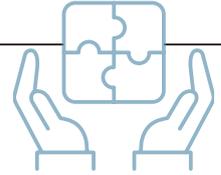
ふるさとを愛し、多様性を尊重する心豊かな人間性を育むとともに、あらゆる世代が共に学び、支え合えるまちを目指します。

重点テーマ

主体性・社会性の育成

重点施策

- ①個性を伸ばし、主体性を育む人づくり
- ②学び合い、高め合う人づくり
- ③ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり



第2章 希望をかなえるまちづくり（結婚・出産・子育て）

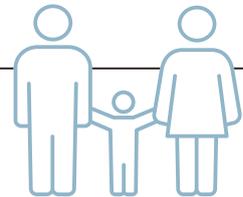
結婚や出産の希望を叶えられ、子育てを楽しむことができるまちを目指します。

重点テーマ

結婚・出産・子育ての希望実現

重点施策

- ①結婚や出産に対する支援の充実
- ②子育て支援の推進
- ③子育てと仕事の両立支援



第3章 生涯活躍のまちづくり（健康・福祉）

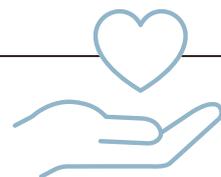
充実した医療福祉環境のもと、生涯を通じた心や体の健康づくりを推進するとともに、誰もが自分らしく生きがいを持ち、共に支え合いながら活躍できるまちを目指します。

重点テーマ

生涯にわたる健康の維持

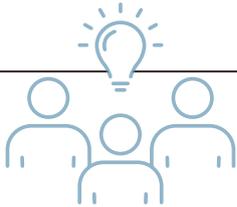
重点施策

- ①共生社会の推進
- ②健康づくりと介護予防の推進



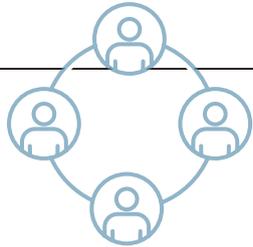
第4章 活気あふれるまちづくり（産業振興）

既にあるしごとの魅力を高めるとともに、新たなしごとを創出し、市民それぞれが個性を活かして活躍できるビジネスチャンスにあふれたまちを目指します。

| | | |
|-------|---|---|
| 重点テーマ | 地域産業の新たな展開 |  |
| 重点施策 | <ul style="list-style-type: none"> ①地域産業の基盤強化・活性化 ②働く意欲と機会の創出 ③魅力ある農林業への転換 | |

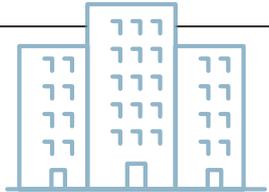
第5章 魅力あふれるまちづくり（シティプロモーション）

地域の魅力を創造・発信し、誰もが訪れ、住み続けたいまちを目指します。

| | | |
|-------|--|---|
| 重点テーマ | 前橋らしさの創出 |  |
| 重点施策 | <ul style="list-style-type: none"> ①地域資源を活かした新たな観光振興 ②移住・定住促進 ③市民主体の魅力づくりの推進 ④魅力的なまちづくりの推進 | |

第6章 持続可能なまちづくり（都市基盤）

人口減少・少子高齢社会に対応した都市基盤の構築を推進し、将来にわたり安全で、安心して暮らせるまちを目指します。

| | | |
|-------|---|---|
| 重点テーマ | 都市機能の充実と安全・安心の確保 |  |
| 重点施策 | <ul style="list-style-type: none"> ①都市機能の集約と拠点性の向上 ②交通ネットワークの充実 ③環境配慮型社会の形成 ④安全・安心なまちづくりの推進 | |

第七次前橋市総合計画「第3期推進計画」の全体像（体系図）

| まちづくりの方向性（まちづくりの柱） | 重点テーマ | 重点施策 |
|---|-------------------------|---|
| <p>第1章 人をはぐくむまちづくり（教育・人づくり）</p> <p>【10年後に目指す姿】 ふるさとを愛し、多様性を尊重する心豊かな人間性を育むとともに、あらゆる世代が共に学び、支え合えるまちを目指します。</p> | <p>主体性・社会性の育成</p> | <ol style="list-style-type: none"> 個性を伸ばし、主体性を育む人づくり 学び合い、高め合う人づくり ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり |
| <p>第2章 希望をかなえるまちづくり（結婚・出産・子育て）</p> <p>【10年後に目指す姿】 結婚や出産の希望を叶えられ、子育てを楽しむことができるまちを目指します。</p> | <p>結婚・出産・子育ての希望実現</p> | <ol style="list-style-type: none"> 結婚や出産に対する支援の充実 子育て支援の推進 子育てと仕事の両立支援 |
| <p>第3章 生涯活躍のまちづくり（健康・福祉）</p> <p>【10年後に目指す姿】 充実した医療福祉環境のもと、生涯を通じた心や体の健康づくりを推進するとともに、誰もが自分らしく生きがいを持ち、共に支え合いながら活躍できるまちを目指します。</p> | <p>生涯にわたる健康の維持</p> | <ol style="list-style-type: none"> 共生社会の推進 健康づくりと介護予防の推進 |
| <p>第4章 活気あふれるまちづくり（産業振興）</p> <p>【10年後に目指す姿】 既にあるしごとの魅力を高めるとともに、新たなしごとを創出し、市民それぞれが個性を活かして活躍できるビジネスチャンスにあふれたまちを目指します。</p> | <p>地域産業の新たな展開</p> | <ol style="list-style-type: none"> 地域産業の基盤強化・活性化 働く意欲と機会の創出 魅力ある農林業への転換 |
| <p>第5章 魅力あふれるまちづくり（シティプロモーション）</p> <p>【10年後に目指す姿】 地域の魅力を創造・発信し、誰もが訪れ、住み続けたいまちを目指します。</p> | <p>前橋らしさの創出</p> | <ol style="list-style-type: none"> 地域資源を活かした新たな観光振興 移住・定住促進 市民主体の魅力づくりの推進 魅力的なまちづくりの推進 |
| <p>第6章 持続可能なまちづくり（都市基盤）</p> <p>【10年後に目指す姿】 人口減少・少子高齢社会に対応した都市基盤の構築を推進し、将来にわたり安全で、安心して暮らせるまちを目指します。</p> | <p>都市機能の充実と安全・安心の確保</p> | <ol style="list-style-type: none"> 都市機能の集約と拠点性の向上 交通ネットワークの充実 環境配慮型社会の形成 安全・安心なまちづくりの推進 |

施策の方向性（最終成果）

重点事業

| | |
|--|-------------------------------|
| 1 こどもたちが学びたいと思え、それに応えられる環境が整っている状態を目指します | (1) 主体的な学びの推進 |
| 2 こどもたちが自分の良さを発揮している状態を目指します | (2) 個の特性に配慮した教育の推進 |
| 3 図書館が知的活動の場として様々な立場の市民に利用されている状態を目指します | (3) 図書館の機能充実 |
| 1 こどもたちが、多様な人々と関わり、地域や社会の一員としての自覚を持ち、主体的に学習・活動している状態を目指します | (4) 人間性を高める学校づくりの推進 |
| 2 様々な世代の住民が交流し、地域と繋がって活き活きしている状態を目指します | (5) 地域で活躍する人材の育成と社会教育の充実 |
| 1 市民が前橋の自然や文化に愛着をもっている状態を目指します | (6) 地域の文化や自然を活かした体験活動の推進 |
| 2 市民が文化財に触れ、お薦めの文化財を言える状態を目指します | (7) 文化財の維持管理・活用促進 |
| 1 結婚に対する不安が解消され、一歩前に踏み出せる状態を目指します | (8) 結婚の希望が持てる環境づくり |
| 2 希望する人が安心して妊娠・出産できる状態を目指します | (9) 妊娠・出産への支援 |
| 1 子育て世代の誰もが悩みや不安を相談でき、安心して子育てできる状態を目指します | (10) 子育て世代への包括的な支援 |
| 2 地域や社会全体で子育てに対するサポートが行われ、子育てする人の不安感や孤独感が解消されている状態を目指します | (11) 地域と連携した子育て支援 |
| 1 子育て支援を必要とする人が、誰でも不安なく子どもを預けられ、安心・安定して仕事ができる環境が整っている状態を目指します | (12) 就学前のこどもの預け先の確保 |
| 2 放課後に子どもが安全に過ごすことができる環境があり、子育てする人がこどもの就学後も安心して子育てと仕事の両立ができる状態を目指します | (13) 放課後のこどもの居場所づくり |
| 1 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる状態を目指します | (14) 地域包括ケアシステムの推進 |
| 2 国籍や性別、障害の有無などに対する理解が進み、地域の中で支え合いと交流が生まれている状態を目指します | (15) 多様性社会の推進 |
| 3 障害者が障害の有無によって別け隔てられることなく、安心して地域の中で暮らしている状態を目指します | (16) 障害者の活躍促進 |
| 1 市民一人ひとりが健康に関心を持ち、その人らしい生活が送れる社会を目指します | (17) 心身の健康づくり事業の推進 |
| 2 地域の支え合いやつながりの中で、健康に生きがいを持って長生きできる社会（well-being）を目指します | (18) 介護予防と高齢社会を支える人づくりの推進 |
| 1 社会経済情勢の変化に対応できる事業者が多く存在する状態を目指します | (19) 事業者の事業継続支援と新市場の開拓 |
| 2 前橋市を立地場所として選択してもらえる状態を目指します | (20) 企業立地の推進 |
| 1 働きたい人が就業機会に恵まれ、在職者のワークライフバランスが保てている状態を目指します | (21) 就業機会の充実と多様な働き方の推進 |
| 2 前橋市が起業しようとする人を選ばれる街になった状態を目指します | (22) 包括的な起業支援 |
| 1 新規就農や定年後の就農を前橋市でと思える状態を目指します | (23) 地域農業の担い手の確保・育成 |
| 2 収益性の高い農業が展開され、農業収入の増加と安定した営農が継続できる状態を目指します | (24) 農業基盤の安定支援 |
| 3 前橋産農畜産物の安定した販路が確保され、市内及び市外で消費されている状態を目指します | (25) 実効性の高い販売戦略の展開 |
| 1 市民も観光客も赤城が好きな状態を目指します | (26) 赤城山を核とした観光振興 |
| 2 歴史・文化・芸術などの名所になっている状態を目指します | (27) 歴史・文化・芸術の活用 |
| 3 スポーツを通じて、訪れる人が増えている状態を目指します | (28) スポーツ機会の拡充と環境づくり |
| 1 前橋市に移住した人や、移住先として検討している人が多い状態を目指します | (29) 移住・定住の促進 |
| 2 「前橋市で暮らす」という選択肢を持つ若者が増えている状態を目指します | (30) 若者の定着・還流促進 |
| 3 全ての人が文化や生活習慣の違いを理解し合い、認め合い安心して暮らしている状態を目指します | (31) 外国人材の定着・共生推進 |
| 1 前橋市の魅力向上に向けて、行政・民間企業が互いの強みを使って行動し、補完し合っている状態を目指します | (32) 民間との連携推進 |
| 2 市民が前橋に誇りを持ち、自慢・応援したくなる状態を目指します | (33) 魅力発信の充実・推進 |
| 1 まちなかで色々な体験・経験ができる状態を目指します | (34) まちなかの魅力向上 |
| 2 まちなかに誰もが快適で豊かな時を過ごせる空間がある状態を目指します | (35) まちなか空間の整備・活用 |
| 1 コンパクトな都市形成による効率的かつ効果的な都市運営が行われる状態を目指します | (36) 合理的な土地利用と良好な市街地の形成 |
| 2 多機能化や集約化された公共施設が市内にバランスよく配置されることを目指した検討が行われ、かつ安全に使用できる状態を目指します | (37) ファシリティマネジメントの推進 |
| 1 市民が将来にわたりこの場所で暮らしたいと思え、移動に不安を感じないで生活ができる状態を目指します | (38) 公共交通の維持・充実 |
| 2 公共交通が移動手段の選択肢に入っている状態を目指します | (39) 公共交通の利用促進 |
| 3 誰もが快適で安全に通行できる状態を目指します | (40) 安全・安心で円滑な道路環境整備の推進 |
| 1 脱炭素を地域の成長機会として捉え、市民・企業・行政それぞれが主役となって連携しGXの取組が加速している状態を目指します | (41) グリーン・トランスフォーメーション（GX）の推進 |
| 2 ごみ処理施設が持続的に運営でき、ごみの減量化・資源化が更に進んでいる状態を目指します | (42) ごみ減量化と安定処理の推進 |
| 1 近隣住民同士が声を掛け合い、安心して、命を守る行動がとれる状態を目指します | (43) 地域防災力の向上 |
| 2 災害時であっても市民が上下水道を安全安心に使えている状態を目指します | (44) 災害に強い上下水道システムの構築 |
| 3 消防力が向上し、火災等による被害の軽減と合わせ、救命率が高水準となり、市民とともに「安全安心の街」を実現している状態を目指します | (45) 消防救急体制の充実・強化 |

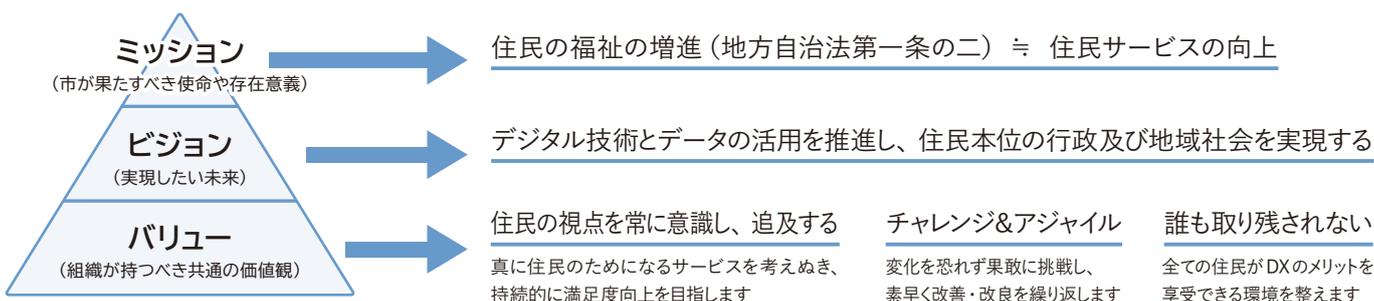
国は、デジタル社会の将来ビジョンに「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」を掲げ、「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を推進しています。

ライフスタイルやニーズに合った心豊かな暮らしを営むことができるよう、「個人を支える」デジタル化を目指すとする方向性は、本市が第3期県都まえばし創生プランで掲げる地域ビジョンと合致するところです。

地域ビジョンの具現化にあたって、最も身近な住民サービスを提供している市役所は大きな役割を果たします。コロナ禍を経験し、ライフスタイルや働き方など社会の変化に合わせて、地域が直面する様々な課題を解決したり、地域に新たな価値を生み出したりする取組を加速させることが重要です。

前橋市DX推進計画に掲げるビジョン「デジタル技術とデータの活用を推進し、住民本位の行政及び地域社会を実現する」のもと、推進計画に掲げるまちづくりの方向性、重点的に推進するテーマや施策、重点事業の取組をしっかりと下支えしていきます。

【参考】前橋市DX推進計画の概要



基本構想

計画推進

重点施策

重点事業

重点事業

重点施策

重点事業

重点事業

重点施策

重点事業

重点事業

重点施策

重点事業

重点事業

デジタル活用で
取組を加速

デジタルで取組全般を下支えし、
市民の利便性・満足度の向上へ

デジタル活用

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、“地球上の誰一人として取り残さない”ことを誓っています。

人口減少と少子高齢化社会の進展により、社会全体の活力低下が懸念される中、本市においても、市民に身近な地域行政として、持続可能な地域社会づくりを進めることでSDGsを推進しています。

これは「第七次前橋市総合計画」の策定趣旨に通じるものであることから、総合計画を着実に推進することで、本市におけるSDGs達成に向けた取組を推進させ、SDGsの理念に沿った、経済・社会・環境の3側面における新しい価値の創造を通して17の持続可能な開発目標を実現させていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(参照) 持続可能な開発のための2030アジェンダ(国際連合広報センター)

【参考】SDGs（持続可能な開発目標）の詳細

| | |
|----------------------|---|
| 目標1 貧困 | あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。 |
| 目標2 飢餓 | 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。 |
| 目標3 保健 | あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。 |
| 目標4 教育 | すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。 |
| 目標5 ジェンダー | ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。 |
| 目標6 水・衛生 | すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。 |
| 目標7 エネルギー | すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。 |
| 目標8 経済成長と雇用 | 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。 |
| 目標9 インフラ、産業化、イノベーション | 強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。 |
| 目標10 不平等 | 各国内及び各国間の不平等を是正する。 |
| 目標11 持続可能な都市 | 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。 |
| 目標12 持続可能な生産と消費 | 持続可能な生産消費形態を確保する。 |
| 目標13 気候変動 | 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。 |
| 目標14 海洋資源 | 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。 |
| 目標15 陸上資源 | 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。 |
| 目標16 平和 | 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。 |
| 目標17 実施手段 | 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。 |

前橋市のSDGsに関する取組

① 前橋市SDGsオリジナルロゴ

前橋市のSDGsへの取組のシンボルとして、本市にゆかりのあるバラ、木馬、赤城山をモチーフとしてオリジナルロゴを作成しました。

各所属において計画書や、イベント開催案内のチラシ・リーフレットなど、広く配布を行う冊子、物品等を作成する際に使用しています。



② 前橋市SDGsパートナー制度

SDGsの理念を踏まえ、地域課題の解決や、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりに共に取組む団体等を募集し、前橋市におけるSDGsの推進を図ることを目的としています。

2025年3月末時点での登録数は183企業・団体であり、前橋市SDGsパートナー（以下SDGsパートナー）を対象とした活動を以下の通り実施しています。

● 前橋市SDGsデイズ

SDGsを身近に感じてもらうために、前橋市SDGsデイズを開催し、市民に向けてSDGsの普及啓発とSDGsパートナーによるSDGsの取組を周知するため開催しています。

● 異業種交流会

SDGsパートナーがワークショップを通してSDGsの理解度を深めると同時に、SDGsパートナー同士の交流を図ることを目的に開催しています。

● 協働アクション

2023年度は「道路・公園・河川等の美化（清掃）活動」「ごみや食品ロスの削減」のいずれかまたは両方を実施できるSDGsパートナーを募り、協働アクション期間を設定し、実施しました。

2024年度は前橋まつり会場の清掃活動に参加できるSDGsパートナーを募り、ごみ拾いを実施しました。

● 公園美化プロジェクト

担い手不足や高齢化などにより、会の運営が難しくなっている公園愛護会の活動をサポートするために、SDGsパートナーと地域が手を組み、一緒に公園美化活動に取り組むことで、地域の負担軽減、企業の社会貢献などに繋がっています。

第七次前橋市総合計画・第3期推進計画とSDGsの主な関連表

| 重点テーマに基づき推進する施策 | | | SDGsの17のゴール | | | | |
|-----------------|-----|--------------------|--|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | 貧困 | 飢餓 | 保健 | 教育 | ジェンダー |
| 章 | No. | 重点施策 |  |  |  |  |  |
| 1章 | 1 | 個性を伸ばし、主体性を育む人づくり | | | | ● | |
| | 2 | 学び合い、高め合う人づくり | | | | ● | |
| | 3 | ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり | | | | ● | |
| 2章 | 1 | 結婚や出産に対する支援の充実 | | | ● | | ● |
| | 2 | 子育て支援の推進 | | | ● | ● | ● |
| | 3 | 子育てと仕事の両立支援 | | | ● | ● | ● |
| 3章 | 1 | 共生社会の推進 | | | ● | ● | ● |
| | 2 | 健康づくりと介護予防の推進 | | | ● | ● | ● |
| 4章 | 1 | 地域経済の基盤強化・活性化 | ● | | | | |
| | 2 | 働く意欲と機会の創出 | ● | | | ● | ● |
| | 3 | 魅力ある農林業への転換 | ● | ● | | ● | |
| 5章 | 1 | 地域資源を活かした新たな観光振興 | | | ● | ● | |
| | 2 | 移住・定住促進 | | | | ● | |
| | 3 | 市民主体の魅力づくりの推進 | | | | | |
| | 4 | 魅力的なまちづくりの推進 | | | ● | | |
| 6章 | 1 | 都市機能の集約と拠点性の向上 | | | ● | | |
| | 2 | 交通ネットワークの充実 | | | ● | | |
| | 3 | 環境配慮型社会の形成 | | | | | |
| | 4 | 安全・安心なまちづくりの推進 | | | ● | | |

※重点施策とSDGsの17のゴールの関連については、169のターゲットを参考にし、ターゲットと関係する主な

| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 水・衛生 | エネルギー | 経済成長と雇用 | インフラ、産業化、イノベーション | 不平等 | 持続可能な都市 | 持続可能な生産と消費 | 気候変動 | 海洋資源 | 陸上資源 | 平和 | 実施手段 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| | | | | ● | ● | | | | | | |
| | | | | ● | ● | | | | | | |
| | | | | ● | ● | | | | ● | | |
| | | | | ● | ● | | | | | ● | |
| | | | | ● | ● | | | | | ● | |
| | | ● | | ● | ● | | | | | ● | |
| | | ● | | ● | ● | | | | | ● | |
| | | ● | ● | ● | | ● | | | | ● | |
| | | ● | ● | ● | ● | | | | | ● | |
| | | ● | ● | ● | | ● | ● | | ● | | |
| | | ● | | ● | ● | | | | | ● | |
| | | ● | | | | | | | | | ● |
| | | ● | ● | | ● | ● | | | | | ● |
| | | | ● | | ● | ● | | | | | ● |
| | | | ● | | ● | ● | | | | | ● |
| | | | ● | | ● | | | | | | ● |
| | ● | | ● | | ● | ● | ● | ● | | | ● |
| ● | | | ● | | ● | | ● | | | | |

取組みを掲げています。

① 上段：左からまちづくりの方向性→まちづくりの柱→重点テーマの順に記載しています
下段：重点施策名を記載しています

② 推進計画最終年度までに目指す施策全体の目標です

③ 重点施策と関連性の高いSDGsのゴールを掲載しています

④ 現状を踏まえて取り組むべき課題を記載しています

⑤・⑥
【地域経営】
重点施策推進にあたり、市民、企業・団体に期待する役割を記載しています

⑦ 重点施策の現状を表すデータや直近の市民アンケート結果を記載しています

⑧ 重点事業番号と重点事業名称を記載しています

⑨ 重点事業の成果の達成度合いを測る指標です
現状値については、指標を確認できる直近の年度を記載しています
※達成度合いや個別計画の改訂等によって変更する場合があります
市民の幸福度・満足度の視点を取り入れるため、ウェルビーイング指標を補足指標として設定します
※該当する指標にはアイコンを表示

【生涯活躍のまちづくり(健康・福祉)】生涯にわたる健康の維持

共生社会の推進 ①



目標

地域内の保健・医療・福祉のサービスを一体的に提供することで、一人ひとり②み慣れた地域で安心して暮らし続け、生涯にわたって活躍できる希望をもたらします

現状と課題

本市の地域特性を活かした保健・医療の体制整備や地域福祉の担い手の充実④より、個人の特性に応じて市民の健康的な生活を支えることが求められています

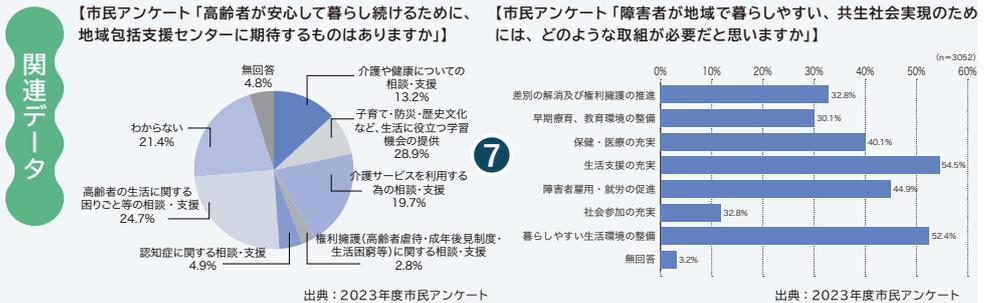


市民に期待する役割

- 住民同士の交流・見守り・支え合い
- 地域行事への参加等を通じた関係づくり
- 障害や認知症への理解

企業・団体に期待する役割

- 強みを活かした地域課題への貢献
- 障害者の雇用・障害者就労施設への発注
- 地域の新たな価値に繋がる企業活動



(14) 地域包括支援⑧システムの推進

成果指標 地域包括支援センターにおける総合相談案件数(年間) ⑨

実績(2017) 6,500件 現状(2023) 8,149件 目標(2027) 8,400件

1 | 在宅医療・介護連携推進事業

- ・医療機関・介護事業所職員を対象とした相談業務・研修会
- ・地域課題の抽出と対応策の検討等を目的とした会議の開催

直接成果

医療・介護における専門職同士の連携体制が強化される状態

中間成果

高齢者が気軽に必要とする支援を受けられるようになる状態

2 | 地域ケア会議・生活支援体制整備事業

- ・地域ケア会議の開催
- ・町社協をはじめとする地域活動支援(企画会議、事業説明、意見交換会等の実施)

直接成果

高齢者が介護予防教室や生活支援活動に参加するようになる状態

中間成果

⑩%が孤立せずに地域住民との繋がり維持できる状態

3 | 地域包括支援センター運営事業

- ・地域包括支援センターの運営
- ・総合相談・支援業務等の地域支援事業
- ・委託包括職員に対する研修会
- ・高齢者虐待相談対応

直接成果

地域包括支援センターが高齢者の相談窓口として活用される状態

中間成果

高齢者が安心して相談やサービスを受けることができるとともに、行政が地域の課題をキャッチする状態

最終成果(施策の方向性)

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる状態を目指します



⑩ 重点事業を構成する内容(行政活動から施策の方向性)をロジックモデルによって可視化しています
左から

【個別事業名称】 → 【直接成果】 → 【中間成果】 → 【最終成果】
目標達成に向けた具体的な行政活動・事業 → 行政活動により目指す成果 → 活動の完了後、一定の期間後に期待される変化 → 最終的(2027年度)に実現を目指す状態

※記載されている行政活動・事業は変更する場合があります。

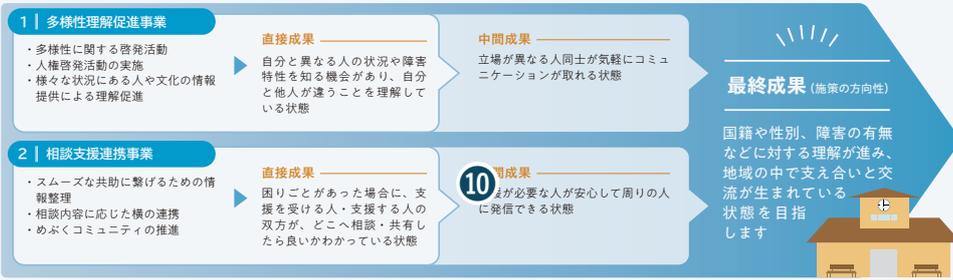
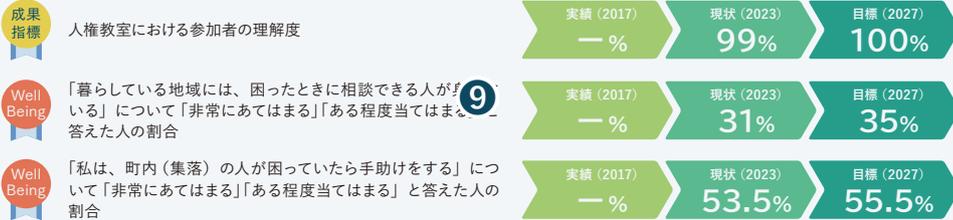
【全体の構成】

※体系図に記載されている施策単位で掲載しています（全19施策）

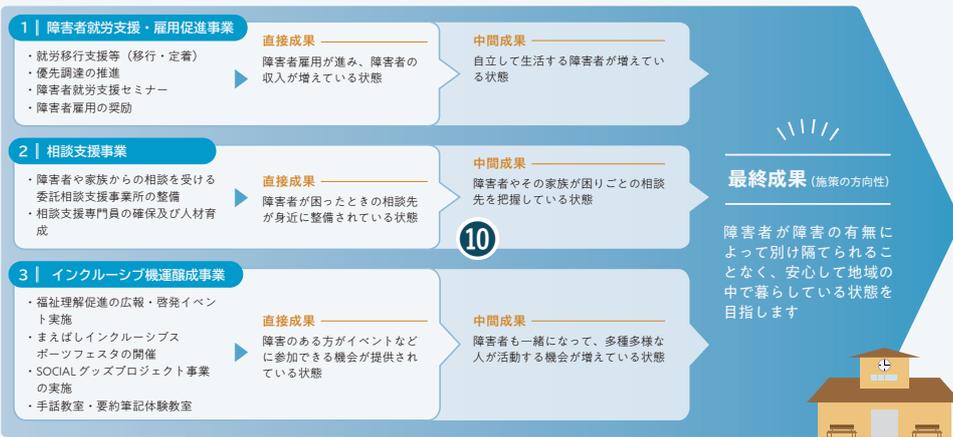
※右ページは⑧から⑩を重点事業ごとに掲載

※各重点施策は2～3の重点事業によって構成されています

(15) 多様⑧社会の推進



(16) 障害⑧の活躍促進



関連する個別計画：県都まえばし創生プラン、まえばしwindプラン・第5次前橋市男女共同参画基本計画、前橋市地域福祉計画・前橋市地域福祉活動計画、まえばしスマイルプラン、前橋はーとふるプラン、前橋市障害福祉計画及び前橋市障害児福祉計画、健康まえばし21

⑩ 重点事業を構成する内容(行政活動から施策の方向性)をロジックモデルによって可視化しています(再掲)

左から



※記載されている行政活動・事業は変更する場合があります。

